



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和3年度 第3号 4月16日

164人の1年生、 入学おめでとう！



4月12日（月）に入学式を行いました。今年は164人の新1年生が入学しました。校庭にはたくさんの花がきれいに咲いて、新1年生の入学をお祝いしました。また、在校生みんなで心を込めた、お祝いの掲示物も校内を飾りました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も来賓の方や在校生が参加しない中での入学式となりましたが、1年生は元気いっぱい、小学校生活のスタートを切りました。

真新しいランドセルを背負い登校した1年生は、張り出された組み分け表をお家の方と一緒にしながら、自分のクラスを探しました。同じ園だった友達の名前を見付け、喜び合う姿も見られました。それから靴箱に靴を入れ、いよいよ1年生の教室へ。

教室では名札と「入学おめでとう」のお花をお家の人に付けてもらいました。ロッカーの中にランドセルなどの荷物を入れました。机の上には、教科書や防犯ブザー、黄色いランドセルカバーなどが置いてありました。

体育館で行われた入学式では、校長から「元気いっぱい遊んだり給食を食べたりしよう。教科書を使って勉強をこつこつしよう。困っている人を助けてあげる親切ハートをたくさんもとう。」という話をしました。出席できなかった6年生からのビデオメッセージもありました。

新型コロナウイルス対策のため窓をしっかりと開けていたのですが、天候にも恵まれ、あまり寒くなくてよかったです。終始落ち着いた雰囲気で行うことができました。



マスクを正しくつけよう

新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまだまだ心配される中、子どもたちのマスクの着用の仕方が気になります。温かくなってきたことも関係しているのだと思いますが、息苦しさからか、それとも気の緩みからなのか、正しいマスクの着け方ができていない児童が目立つようになってきました。感染防止にはマスクの着用が重要です。学校でも指導していますが、ご家庭でもお子様のマスクの着用の仕方について、今一度ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。



あごにかけている。



鼻を出している。



ご存じでしたか？

桑田中学校の東にある「桑田公園」に写真のような塔が建っています。これが何かご存じですか？実はこれは「ラジオ塔」（正式名称は公衆用聴取施設）と言って、ラジオの普及促進のため全国各地に建てられたものです。ラジオに合わせてラジオ体操もしていたそうです。桑田公園のラジオ塔は、昭和14年、下石井にあった大藤公園（今は駐車場になっています。）に建てられ、その後現在の場所に移設されたものです。当時は全国に465か所以上設置されていたようですが、現存しているのはわずかに39か所ほどだそうです。歴史を感じさせる大変貴重な文化財ですね。



学校長のつぶやき ～見え方の違い～

校内を見回っているとき立ち寄った図書館で、ふと目に留まった本、それは「動物の見える世界」（ギョーム・デュブラ著 渡辺滋人訳 創元社）という仕掛絵本図鑑でした。人は両目で景色を見ると、多くの色を見分けたり、立体的に物をとらえたり、動きをとらえたりすることができます。しかし、すべての動物が同じ見え方をするわけではありません。例えば牛は、色をあまり見分けることができません。（特に赤色に敏感というわけでもないようです。）顔の正面のあたりには見えない部分があります。また、馬は遠くの物（数十メートル先）でも、はっきり見分けられます。視野が広く（約350度）、自分の周りのほぼ全体を見渡すことができるのだそうです。自分の背中に乗っている人まで見えているとは驚きですね。この本にはほかにも、鳥や昆虫などに景色がどのように見えているのかが約20種類紹介されています。カタツムリにはどのように見えているのか、興味はありませんか？ぜひ読んでみてください。

動物による見え方の違いと同じではありませんが、同じ「人」でも人によってももの見え方が違っていているように思います。例えばプロ野球の試合を観ていても、野球経験のある人とない人では、選手のプレー一つの見え方も違ってくるのではないのでしょうか。同じものを見たり聞いたり、経験したりしても、人によって「見え方」「考え方」「感じ方」が違います。みんな同じではない、みんな違う、それが当たり前なのですが、意外とそのことに気が付かず、トラブルになることはありませんか。

